

日墨グローバルパートナーシップ研修計画報告書 4月

伊達椋平

本研修も残るところあと3ヶ月を切り、やり残したことはないかと考えながら、研修期間いっぱいまでやり切ろうという気持ちのところ、このレポートを書いています。旅行ももっと行きたいなあなども考えるのですが、今回のセメスターの成績が少し下がってしまったこともあり、このままのスペイン語レベルでは日本に帰れないという危機感を感じているところでもあります。気候はこのところ、夕方に雨風があつたりするものの、基本的には日中気温が高く、こまめな水分補給が欠かせない日々が続いています。

今回のレポートでは、今まであまり書いたことがない私が訪れた場所の紹介をしようと思います。お出かけにちょうどいい気温と、セマナサンタなどの祝日連休もあいまって、複数の素晴らしい場所を訪れることができました。

① ネバド・デ・トルーカに登ってきました

ネバド・デ・トルーカはメキシコにある4690mの山です。名前の通り雪で覆われた姿が美しい山としても有名です。メキシコの南の方は雪なんか降らないだろうと思っていたのですが、ここまで高いところになると雪が降り溶けずに残ります。雪のシーズンはほぼすぎではいたのですが、わずかに雪のとけ残りを見ることができました。4000m越えの山に登ったなんてすごいことだと思われがちですが、この山は初心者でも簡単に登ることができますし、頂上付近まで車で移動することもでき、気軽に楽しめる場所でした。私はツアーで片道5時間程度の道のりを歩きましたが、がつつり登山というよりはハイキングをしている気分に登り切りました。最初は自分が4000m以上の高地にいることを知りませんでした。富士山もまだ登ったことがない私がいつの間にかもっと高い場所にいることが、実感がわかないと同時にメキシコの自然の雄大さを感じた瞬間でした。頂上付近には二つの大きなカルデラ湖があり、その景色は絶景という文字通りの美しさでした。大きな山を登っていく中



で急に見えてくる青い湖、その時私はとても感動しました。

② サカトランに行ってきました

サカトランは大きな谷沿いにある街の一つで、こちらにも自然が豊かな場所です。緑が生い茂り、その中に見える大きな滝もまた綺麗で、近くまで見に行くことができました。りんごの産地としても有名で、バスを降りてすぐの冷たい風を浴びた時、そのりんご栽培に合った気候を肌で感じました。谷に面した道路には、色とりどりの破片を組み合わせて作られたモザイク画が壁一面に描かれています。大きな谷とモザイク画の組み合わせで、まさにインスタ映えのスポットと言えるかもしれません。実際にそのモザイク画を見てみると、メキシコの神話に出てくる神々など、メキシコならではの美しいデザインを見ることができます。もちろん、りんごにまつわる商品や、その他の手工芸品も盛んに生産されていて、りんごのビールやスパークリング、たくさんの種類の果物で作られたワインなどを味見しながらほろ酔い気分で街を散策できました。



今、ビーチがあちらこちらで汚染されてしまっているという悲しいニュースも耳にしますが、一方でメキシコには山や滝など雄大な自然を感じられるところもたくさんあります。観光マナーにも気をつけながら、メキシコの内陸部にも興味を向けて調べてみてはいかがでしょうか。

